

平成 29年度事業計画

平成29年度 事務局 事業計画

1 総会・理事会等開催

(ア) 社員総会の開催

①定時社員総会の開催 日時：平成29年7月8日(土) 岸記念体育館

(イ) 理事会の開催

①第1回理事会 平成29年6月17日(土)岸記念体育会館

②第2回理事会 平成29年7月8日(土) 岸記念体育会館

2 監査会の開催

①平成28年度 会計監査(東邦監査法人) 開催日程：平成29年6月5日(月)-6日(火)

開催場所：岸記念体育会館JCA事務局

②平成28年度 監査会 日時：平成29年6月13日(火) JCA事務局

3 上部団体対応

①公益財団法人 日本オリンピック委員会

各種提出書類対応 事務局長会議 NF・JOC強化連携会議 他 委員会対応

②公益財団法人 日本体育協会 各種提出書類対応 事務局長会議 記者クラブ対応 他

4 補助事業の申請・実施・報告業務

日本スポーツ振興基金(JSC) スポーツくじ助成 等

5 世界カーリング連盟対応

加盟費等支払い 提出・申請書類各種対応 各種大会エントリー ユニフォーム申請 等)

6 広報活動

①ホームページの維持・更新業務

②フェイスブックの維持・更新業務

③ホームページ上でのアーカイブの充実

④協賛企業対応

・ミスノ(代表ユニフォーム制作 納品スケジュール作成)

・全農(協賛内容の見直し 契約)

・日本航空(協賛内容の見直し 契約〔終了〕)

・カーベル(協賛内容の見直し 契約)

・athome(協賛内容の見直し 契約〔終了〕)

・クラウドファンディング対応 掲載情報の更新 アクセス数UP対策

(YAHOO ボランティア 毎日クラウド JAL ネクストマイル NTT ドコモ)

⑤新規協賛企業獲得

⑥メディア対応 平昌五輪に向けた広報

⑦記者クラブ 取材対応 会見対応

⑧その他 大会運営時 協賛社・NHK 中継打ち合わせ マスコミ対応

7 会計業務

日常会計業務(銀行残高確認(資金繰り) 会計ソフト入力)

月次(四半期)試算表作成 各種取引業務(契約書管理 支払い) 決算業務

納税 給与計算 社会保険手続き 他

8 競技者登録 登録証の発行

9 全国事務局長会議の開催

10 その他

平成 29 年度 総務委員会 事業計画

1 委員会の開催

- ・月 1 回の定例 web 会議開催を基本とし、それ以外にも必要に応じ適宜開催。
 - ・集合会議は 2 回開催。
- (29 年度の事業計画等が承認される定時総会に合わせて開催し、29 年度の活動、事業実務の詳細について協議。又年度末前に 30 年度事業計画の詳細と進め方について協議。

2 次期役員選考についての提案

- ・本年度の役員選考委員会開催にあたり前回開催の事後検証等から、総務委員会案として運用方法等（必要であれば規定の改定を含む）について理事会へ提案。

3 有料観戦大会での調査及び検証

- ・本年度開催予定の大会等でマーケティング特別委員会が有料観戦に指定する大会等について現地調査、検証を実施。今後有料観戦化（付加価値を含む）を継続して行く為にマーケティング特別委員会及び理事会へ報告及び提言を行う。

4 諸規定の改訂及び起案作業の実施

- ・引き続き公益法人として内部統制の強化を図るため、既存規定の見直しや、新たな規定の起案、策定作業を実施。
- ・今期は、事務局長交代等も踏まえ引き続き「事務局関連規定」を主な検討項目とする。

5 次期事務局長選任プロジェクトの遂行

- ・28 年度理事会で承認を受けた「次期事務局長選任プロジェクト」について所管委員会としてなるべく早く遂行出来るようサポートを行う。

6 会費及び登録費等の検討

- ・数年後の事務局移転等を踏まえ、財政面での協会安定運営の為の財源確保等に関して現在の会費及び登録費等の見直しを引き続き検討する。
- 合わせて徴収費の名称及び区分の変更等も検討する。

7 登録証の発行（事務局依頼）

- ・登録料の振込が確認された加盟協会から随時発行。

8 その他

- ・全国事務局長会議（JCA 主催）に委員長又は副委員長を派遣し、事務レベルでの提案等について検討、改善等協力を行う。

会議での意見や提案等については理事会へ報告する。

- ・各専門委員会及び地方協会、大会会議等に、web 会議の積極的活用を引き続き提唱し、経費削減と、効率的な利用の促進を図る。

平成 29 年度総務委員会予算（案）

	内 容	金 額
委員会経費	会議室利用料（18,000×2 回）	36,000
	参加旅費交通費 2 回	300,000
	事務経費	10,000
	経費計	346,000
事業費	登録証発行、共通名刺作成	25,000
	大会及び会議派遣費（有料大会 JCC 等）（事務局長会議）	250,000
	事務局長選任プロジェクト（会議費、交通費等）	300,000
	事業費計	575,000
計		921,000

平成29年度 指導普及委員会 事業計画

日本カーリング選手権において、オリンピック代表候補チームが決まる大会とのことで多くのマスコミが取材に来ていただき連日大きく報道されました。また、NHKBSにて男子も予選からライブ中継となり男子カーリングも注目されてきました。男子もオリンピック出場の芽が出てきましたので、男女とも注目され普及の最大のチャンスであります。今後も計画的・継続的なカーリングの普及と指導者の養成を行ない、カーリング競技の普及と競技力の向上に努めます。

1 委員会の開催

- ・委員会の活性化とカーリング人口拡大のため集合委員会を年2回、ウエブ会議を多く取り入れる。
 - ・第1回指導普及委員会（主に事業計画の確認および具体的内容の検討）
日時：平成29年7月
 - ・第2回指導普及委員会（主に事業の進捗状況確認および次年度計画の検討）
日時：平成28年12月
- ※指導普及委員会開催に先立って正副委員長会議を開催予定。
- ・必要に応じweb会議を開く。

2 公認カーリング指導員の養成

（公財）日本体育協会の委託を受けて開催するが、今年度は指導員養成講習会を開催する。

公認カーリング指導員専門科目養成講習会

期日：前期29年 9月23日～24日 2日間
後期29年 10月27日～29日の3日間

会場：長野県 軽井沢アイスパーク

対象：概ね4年以上カーリング経験者20歳以上で現に活動している者。

参加人数：20名程度

3 JCAカーリングスクールおよびOCTの開催と公認指導者の活用促進

- ・カーリングの普及と指導力の向上を目指して指導員・上級指導員の協力を得て
1. DAPの補助金とOCTを利用しJCAカーリングスクールを開催する。

開催地 愛知県

開催日 29年9月

主管 愛知カーリング協会

受講対象者：未経験者及びレベルアップコースとする。

JCAスクールカーリング

開催地 青森県

開催日 29年7月30日（日）

主管 青森カーリング協会

受講対象者：未経験者及びレベルアップコースとする。

OCTカーリングスクール 2週にわたり2会場予定（次年度予算があればWCFが日本で開始希望）

開催地 北海道

開催日 29年

主管 北海道カーリング協会

受講対象者：未経験者及びレベルアップコースとする

4 未導入県へのカーリングの普及啓発

カーリング競技の未導入県や未組織県に対し、カーリング情報の提供や普及啓発を図り、導入や組織化を進めると共に、カーリングの胎動のある県に対しては、普及啓発の一環として公認カーリング指導者を派遣しミニスクール等を開催する。

5 （財）日本体育協会全国スポーツ指導者連絡会議への参加

日本スポーツ界における現況を把握すると共にその一役を担うものとする。

6 公認指導者養成講習新制度の準備

30年度から新制度により指導者養成講習会が開催されるため、新カリキュラム作成。

7 世界ミックスカーリング選手権 2017 日本代表選考会の開催

2017年8月25日～27日 軽井沢アイスパーク

29年度 指導普委員委員会予算（案）

収入

委託金	600,000	日体協 初級
DAP	1,000,000	
全農	1,000,000	
OTC	400,000	
養成講習会参加費	220,000	JCA受講料 12000円
スクール参加料	600,000	
合計	3,820,000	

支出

交通費	1,000,000	委員会2回開催、その他
JCAスクール 3～4箇所	1,800,000	2回開催予定 DAP申請
指導員養成講習会	1,200,000	長野 前期 後期
公認養成講習新制度作成	200,000	
公認指導員表彰	20,000	記念品 3名
合計	4,220,000	

平成29年度 競技委員会 事業計画

- ・日本選手権大会その他の競技大会の開催
- ・競技力向上事業の実施及び調査研究
- ・審判員の資格認定
- ・国際競技大会等の開催並びに国際競技大会への代表参加者の選定及び派遣

1 競技委員会の開催〈900千円〉

- ・第1回委員会〈350千円〉
日 時：平成29年9月23日(土)～24日(日)
場 所：北海道札幌市 北海道立総合体育センター研修室
- ・第2回委員会〈300千円〉
日 時：平成29年10月28日(土) [東京都]
場 所：東京都 八重洲プラザ
- ・第3回委員会〈300千円〉
日 時：平成30年4月14日(土) [東京都]
場 所：東京都 八重洲プラザ

2 審判員検定講習会及び研修会 〈500千円〉

- ・A級研修会〈250千円〉
開催日程：平成29年9月23日(土)～24日(日)
開催場所：北海道札幌市 北海道立総合体育センター研修室
- ・A級派遣研修〈100千円〉
開催日程：平成29年12月13日(水)～17日(日)
開催場所：軽井沢国際大会(長野県：軽井沢町)
- ・A級検定講習会(隔年実施～本年開催)〈200千円〉
開催日程：平成29年9月23日(土)～9月24日(日)
開催場所：北海道札幌市 北海道立総合体育センター研修室
- ・B級検定講習会〈100千円〉
開催日程：平成29年11月25日(土)～26日(日)
開催場所：第26回日本ジュニアカーリング選手権大会
(札幌市：どうぎんカーリングスタジアム) 道競技委員会にて決定
- ・C級検定講習会
開催日程及び場所 各都道府県協会にて決定のうえ実施
※特にC級検定の内容が地域によってばらつきがあり、統一の必要がある。指導者マニュアルからも審判に関する項目が大幅に削られている。審判員検定マニュアルなどの統一化が必要。

3 各種大会の開催日程及び開催場所

- 第13回日本車椅子カーリング選手権大会 (500千円)
開催期間：平成29年5月26日(金)～28日(日)
開催場所：北海道札幌市：どうぎんカーリングスタジアム
参加チーム：6チーム 北海道3、本州3

○2017オリンピック日本代表決定戦(女子)(2,500千円)

- 開催期間：平成29年9月8日(金)～10日(日)
- ※日程は強化委員長・競技委員長・専務理事協議の上、日本選手権開催前に最終決定。
競技方法はベストオブ5の予定 ～ 運営については競技委員会が取り扱う。
- 開催場所：北海道北見市：アドヴィックス常呂カーリングホール(強化委員会決定)
- ※ミックスタブルスの開催について結果によって検討が必要

○第26回日本ジュニアカーリング選手権大会(2,000千円)

- 開催期間：平成29年11月21日(火)～26日(日)
- 開催場所：北海道：札幌市：どうぎんカーリングスタジアム
- 参加チーム：男女各8チーム 出場枠：北海道:3 東北:1 関東中部:2 西日本:1 開催地推薦:1
- ※出場辞退を辞退する場合は、平成29年9月15日までに「出場辞退届」を日本カーリング協会会長宛に提出すること。
- ※出場辞退があった場合の他ブロックへの割当は、次の順番とする。東北⇒北海道⇒関東中部
- ※初日は公式練習及びチームミーティング等の実施

○第8回全日本大学カーリング選手権大会(500千円)

- 開催期間：平成29年12月1日(金)～3日(日)
- 開催場所：青森県青森市：みちぎんどリームスタジアム

○第13回全国高等学校カーリング選手権大会（負担金 100千円）

開催期間：平成30年2月9日（金）～12日（月）

開催場所：青森県青森市：みちぎんどリームスタジアム

参加チーム 男女各5チーム 北海道:1 東北:1 関東中部:1 西日本:1 開催地:1

○第15回日本シニアカーリング選手権大会（500千円）

開催期間：平成30年2月15日（木）～18日（日）

開催場所：北海道妹背牛町：妹背牛町カーリングホール

参加チーム：

男子：北海道4、東北2、関東中部2、西日本1、開催地1 計10チーム(2ブロック)

女子：北海道2、東北1、関東中部1、西日本1、開催地1 計6チーム(総当たり)

※11月末日までに各ブロックからの出場意向を聴取決定。

欠場枠＝前年度の対象年齢登録者数によって割振りを行う（北海道は優先順位1位）。

①世界選手権への出場権を優勝チームに優先的に与えることとするが、優勝チーム単独で参加できない場合は、2位、3位チームまでその権利を与える、或いは1位、2位、3位の選手による混成チームでの参加も可とする。

②日本協会として派遣費用の一部助成

○第35回 全農 日本カーリング選手権大会（男女）（2,500千円）

開催期間：平成30年1月28日（日）～2月4日（日）

開催場所：北海道名寄市：北海道立サンピラーパーク交流館カーリングホール

参加チーム：①案 男女各9チーム

北海道3・東北1・関東1・中部1・西日本1・開催地推薦1、前年度優勝1

第35回大会においては前年度優勝チームは、男子は34回大会2位、女子は平昌オリンピック代表決定戦2位のチームとする

○第11回 全農 日本ミックスダブルスカーリング選手権大会（1,500千円）

開催期間：平成30年3月14日（水）～3月18日（日）

開催場所：青森県青森市：みちぎんどリームスタジアム

参加チーム：18チーム（今後、更に増やす検討も）

前年度優勝・準優勝：各1 北海道：4 東北：3 関東：3 中部：3 西日本：3

※開催地推薦は、ブロック出場枠に含める。

4 その他の大会

○2017軽井沢国際カーリング競技大会（負担金 100千円）

開催期間：平成29年12月13日（水）～17日（日）～変更の可能性もあり

開催場所：長野県軽井沢町：軽井沢アイスパーク

○第23回オリンピック冬季競技（平昌）大会2018～カーリング競技

開催期間：平成30年2月9日（金）～21日（水）（大会は25日まで）

開催場所：韓国：平昌

5 平成30年度事業

○第14回日本車椅子カーリング選手権大会（500千円）

開催期間：①案 平成30年5月18日（金）～20日（日）

②案 平成30年5月25日（金）～27日（日）（JWCAにて最終決定）

開催場所：新潟での開催を予定

参加チーム：6チーム 北海道3、本州3

1 強化事業の目標、課題

強化事業における最大の目標は、カーリング日本代表チームがオリンピック冬季競技大会、世界カーリング選手権大会において金メダルを獲得することである。平成 27 度には、平昌オリンピックでの目標を 1) 男・女 金メダル獲得、2) 三種目出場、と設定した。この目標を踏まえて、今年度の目標を、

- 1) オリンピック冬季競技大会（2018/平昌）での男・女 金メダル獲得、三種目出場
- 2) 2018 年世界カーリング選手権大会（男・女）出場 8 位以内
- 3) 2018 年世界ミックスダブルスカーリング選手権大会 8 位以内
- 4) 2018 年世界ジュニアカーリング選手権大会男・女出場とする。

課題は、海外強豪チームと対戦する機会が少ないことである。日本代表がオリンピックや世界選手権大会でメダルを獲得するには、海外強化合宿を実施し、国際ツアー大会等へ参戦することで国際競技力向上を図る必要がある。

2 平成 29 年度強化事業

上記の目標に向けた強化事業を実施する。

- 1) 強化チーム・選手の指定
- 2) 国内強化合宿の実施
- 3) 国内合同研修合宿の実施
- 4) 国内合同強化合宿の実施
- 5) 国内ジュニア合同強化合宿の実施
- 6) 海外強化合宿の実施（秋：カナダ、冬：ヨーロッパ）
- 7) 国際大会への日本代表チームの派遣、強化・サポートスタッフの派遣
- 8) 各国際大会日本代表選手選考
- 9) 日本代表チームへの科学的サポートについての検討
- 10) 中・長期選手育成・強化プログラムについての検討
- 11) 国際総合スポーツ大会（ユースオリンピック、ユニバーシアード、アジア大会、オリンピック）の選考・強化についての検討

3 平成 29 年度強化事業予算

- 1) 強化委員会開催年 12 回 支出予算 200 万円（財源 会費等）
- 2) 強化事業（スポーツ振興センター助成事業等）

以上

1 委員会の開催

- ・第 1 回医科学委員会(集合会議)
- ・第 2 回以降の医科学委員会(ウェブ会議)適宜

2 ドーピング検査事業

- ・ toto 費用申請
- ・ JADA と連携し検査立案
- ・ 大会開催県協会と連携し、試合日程を確認、ドーピングコントロールステーションの設置、シャペロンの確保。検査、大会運営がどちらも問題なく進行するための調整
- ・ 検査立会い

3 アンチ・ドーピング啓発事業

①研修会について（JADA 講師派遣希望は以下の通り→優先順位高い順）

- ・ JCA 男女強化指定選手研修合宿
- ・ 全国高等学校カーリング選手権大会出場選手

JADA 講師派遣が困難な時は JCA 医科学委員が講師となる予定

- ・ 北海道指導者講習会

②横断幕使用(JADA から借用)

- ・ 日本カーリング選手権大会
- ・ 日本ジュニアカーリング選手権大会
- ・ 日本ミックスタブルスカーリング選手権大会
- ・ 全国高等学校カーリング選手権大会
- ・ 全日本大学カーリング選手権大会

③各ブロック大会でアンチ・ドーピングの情報提供(可能であれば研修会の開催)、TUE 指導

④選手権大会でプログラムに「アンチ・ドーピングのすすめ」の掲載

4 医科学情報提供

各都道府県協会への連絡、ホームページへの掲載

5 医科学に関連する各講習会へ参加と情報提供

- ・ 加盟団体連絡会議兼ドーピング防止研修会への参加(2 回/年)
- ・ 加盟団体スポーツドクター代表者会議
- ・ 日体協スポーツドクター代表者会議
- ・ アスレティックトレーナー連絡会議
- ・ JADA ヒアリング
- ・ アンチ・ドーピング教育活動の講師養成講習会
- ・ アンチ・ドーピング定期研修会

6 トレーニング情報の提供

7 その他

- ・ 各都道府県協会へのアンチ・アンチドーピング理解度アンケート、
- ・ 研修会の開催
- ・ 選手権大会中の医療情報提供

平成29年度 コンプライアンス特別委員会 事業計画

コンプライアンス特別委員会は、本協会が透明性のある健全な組織運営を実践するため、コンプライアンス及びガバナンスのより一層の強化をはかるとともに、アスリート、アントラージュへの危機管理教育の徹底に努めます。

活動内容

1 委員会の開催：年4回程度

基本的に web 会議にて開催予定。

但し、コンプライアンス違反等の重大な案件が発生した場合は、必要に応じ集合会議を開催する。

2 上部団体（JOC、日体協）及び関連団体（JSAA）等が開催する研修会等への参加

危機管理、モラルハザード、アンチハラスメント、暴力根絶等に関する情報入手と知識習得に努め、協会関係者へ情報提供及び啓発を行う。

3 合同強化合宿等でのコンプライアンスに関するセミナーの開催

合同強化合宿等（ジュニア強化選手も含む）で、コンプライアンスに関するセミナーを開催し、強化選手に対し「日本代表及び強化選手の行動規定」等への理解と認識を高める危機管理教育を行う。

4 未成年競技者の保護者に対して、アスリートの「人としてのキャリア形成」のための適切な支援のお願い

選手の所属する地方協会を通じて、当委員会作成セミナー資料「スポーツとコンプライアンス・ガバナンス」及び「コンプライアンス・ガバナンスQ&A」を配布し、保護者が選手の人間形成において、よき水先案内人となれるべく周知をはかる。

5 指導者に対して、アスリートへの危機管理教育の徹底と、アスリートのデュアルキャリア形成支援のお願い

指導者のアスリートに対する危機管理教育の徹底と、強化選手が「アスリートとしてのキャリア形成」と「人としてのキャリア形成」を同時に取り組むために、指導者が適切なタイミングで適切な理解と支援を提供するよう、指導普及委員会の開催する指導者講習会等の場をお借りして周知をはかる。

6 協会ホームページを活用した啓発活動

反社会的勢力との関わりの禁止や、違法賭博等違法行為への関わりの禁止、またアンチハラスメント、暴力根絶等の啓発活動を、全協会員に向け協会ホームページを活用して行う。

また、JOCホームページとリンクするようにして、協会員のアントラージュガイドライン等への理解と認識を高める。

7 地方協会への、当委員会作成セミナー資料「スポーツとコンプライアンス・ガバナンス」及び「コンプライアンス・ガバナンスQ&A」の配布

トップアスリート以外への危機管理教育や、コンプライアンス及びガバナンス強化を地方協会においても積極的に実践していただく。

予算（案）

・集合会議を開催した場合の参加交通費	150,000 円
・合同強化合宿等の講師派遣費用（旅費）	100,000 円
・指導者講習会の講師派遣費用（旅費）	100,000 円
・上部団体の講習会等の参加交通費	100,000 円
合 計	450,000 円

平成 29 年度 マーケティング特別委員会 事業計画

- 1 今後のカーリング競技の広報・普及及び収益事業としての展開を考える。
- 2 五話トライアル、日本選手権におけるマーケティング
- 3 平昌五輪にむけてのマーケティング、ライセンス展開でのマーケティング
- 4 予算 150000円(前年同様)

平成 29 年度 アスリート特別委員会 事業計画

- 1 委員会開催
第1回委員会 4月 Web 会議
第2回委員会 6月中旬 集合会議
第3回委員会 9月 集合会議
第4回委員会 11月 Web 会議
- 2 現役アスリート、事業運営に寄与するアスリート等情報交換を得る機会をより多く求め、今後の運営の糧とする。
- 3 キッズクリニック（仮称）6月中旬
アスリート委員の希望提案による講習会を開催。（札幌 or 北見市常呂）

委員会事業予算

項目		
集合会議	200,000	
キッズクリニック	150,000	
JOC 研修会	150,000	
		500,000

※ JOC 研修会等への出席が委員会の予算でない場合は、350,000 円の予算となります。